

令和7年度

情報セキュリティ外部監査および情報セキュリティ研修業務委託

総合評価基準書

【一般競争入札総合評価落札方式】

- 1 受託者選定の概要
- 2 総合評価の方法
- 3 技術提案書の作成要領
- 4 その他

令和7年4月
学校法人 自治医科大学

1 受託者選定の概要

令和7年度情報セキュリティ外部監査および情報セキュリティ研修業務委託（以下「本業務」という）の受託者の選定は、予定価格の制限の範囲内の価格をもって有効な入札を行った者のうち、入札価格及び提案内容、事業者の幅広い能力・ノウハウ等の技術力を総合的に評価して落札者を決定する、総合評価落札方式によって行う。

2 総合評価の方法

入札者から提出された技術提案書および入札書を基に、以下のとおり総合評価（加算方式）を行い、落札者を決定する。

2-1 評価項目

評価対象とする項目は、別紙「技術評価表」の評価項目および入札価格である。

2-2 評価配点

評価は900点満点とし、技術評価と価格評価に区分し、技術点を600点、価格点を300点とする。

2-3 評価方法

(1) 技術評価

別紙「技術評価表」の項目ごとに、以下の採点基準により評価し、合計点を技術点とする。なお、技術評価表における各項目の得点配分は非公表とする。

当該項目の評価	評価	評価点
仕様を満たしており、提案内容が優れている。	S	100 %
仕様を満たしている。	A	50 %
一部仕様を満たしている。（条件次第で満たせる）	B	25 %
仕様を満たしていない。（満たしていると判断できない）	C	0 %（失格）

(2) 価格評価

価格点については、次式により算出する。（小数点以下切り捨て）

$$\text{価格点} = \frac{\text{予定価格} - \text{入札価格}}{\text{予定価格} - \text{最低入札価格}} \times 300 \text{ [点]}$$

(3) 総合評価

技術点と価格点を合計した値を総合評価点とする。

(4) 落札者の決定

予定価格を超えない入札価格を応札した者のうち、総合評価点数が最も高い者を落札者とする。なお、総合評価点数の最も高い者が2者以上あるときは、技術点が最も高い者を落札者とする。さらに技術点の最も高い者が2者以上ある

ときは、入札価格の最も低い者を落札者とする。ただし、この場合において技術点及び入札価格が同値の場合は、当該者のくじ引きによって落札者を定める。

2-4 落札者決定の通知

落札者決定の通知は、入札公告「6 入札期限及び方法」に掲げる日から 14 日以内に、応札者全員にメールで通知する。

3 技術提案書の作成要領

技術提案書の作成にあたっては、別紙の「令和 7 年度 情報セキュリティ外部監査および情報セキュリティ研修業務委託 入札仕様書」（以下「仕様書」という）に記載されている内容等を技術提案書に十分に反映させることが必要となるので、内容をよく確認すること。

3-1 技術提案書の構成と様式

技術提案書の構成は以下のとおりとする。提出時の体裁は、A 4 タテに片面印刷し、紙製フラットファイルに綴じたものを原則とする。

- (1) 社の経験・能力等
 - ア. 類似業務の経験
 - イ. 資格・認証等
- (2) 業務の実施にかかる提案
 - ア. 業務実施の基本方針および業務実施体制
 - イ. 仕様書「4-2」～「4-5」業務の実施にかかる提案
 - ウ. その他
- (3) 業務従事者の経験・能力等
 - 業務に従事する監査責任者、監査人、監査補助者、アドバイザー等、それぞれについて記載すること。
 - ア. 業務従事者の推薦理由
 - イ. 業務従事者の経験・能力等
 - ウ. 特記すべき類似業務の経験

3-2 技術提案書作成上の留意事項

- (1) 社の経験・能力等
 - ア. 類似業務の経験
 - 類似業務の実績（5 件以内）について、その業務内容（事業規模、内容等）を記載すること。（関係業務の経験・能力についてアピールできる点など具体的に記載する。）
 - イ. 資格・認証等
 - 監査人の要件（仕様書「6 監査人の要件」を参照）を証するものの写しを提出すること。また、その他に本業務に関すると思われる資格・認証を有している場合は、その証明書の写しを提出すること。

(2) 業務の実施にかかる提案

ア. 業務実施の基本方針および業務実施体制

仕様書において指示された業務内容について理解のうえ、本業務実施における基本方針を提案すること。その際、仕様書に示した業務内容を基本とし、受注希望者の特徴を活かした提案内容とすること。

また、業務実施体制、要員計画（全業務従事予定者の氏名、担当業務、類似業務の実績）を記載すること。

イ. 仕様書「4-2」～「4-5」業務の実施にかかる提案

仕様書「4-2 ペネトレーションテスト」～「4-5 情報セキュリティe-Learning」に指示する業務について、具体的にどのような内容で実施していくのか、提案すること。

(3) 業務従事者の経験・能力等

ア. 業務従事者の推薦理由

応札者が、業務従事者を推薦する理由を、業務従事者ごとに①「推薦理由」および②「類似業務」に分けて、一人当たり 1,000 字以内で記載すること。

イ. 業務従事者の経験・能力等

以下の各項目について、記載すること。

項目	記載すべき内容
担当業務	本業務において担当する業務を記載すること。
取得資格	担当業務に関連する取得資格について、その資格名、取得年月日を記載すること。
業務従事等経験	最近のものから過去 2 年間のものまで時系列順に記載すること。ただし、契約期間が複数年度にまたがる案件や複数年に従事した場合は、一案件として初年度または最初の業務にまとめて記載すること。

ウ. 特記すべき類似業務の経験

記載に当たっては、本業務に類似すると考えられる業務経験の中から、本件業務の業務従事者（担当業務）の業務内容として最も類似すると考えられるものを過去 2 年間まで遡って最大 3 件まで選択し、具体的に類似する内容がわかるように、業務の概要や担当事項および本業務との関連性について記載すること。（特に、発注者である本学と類似した医科大学や、総合病院等での実績がある場合には記載すること。）

4 その他

- 入札価格が予定価格を著しく下回る場合に、提案内容に適合した履行が不可能と判断された場合は、失格とする。
- 技術提案書に不備があると判断した場合には、審査を行わないことがある。また、一度提出された提案書の差し替えや再提出は、一切認めない。
- 審査の過程において、技術提案書の内容等にかかる問い合わせや資料要求を行うことがあるので、誠実に対応すること。

- 提案内容の根拠が不明確であったり、本学からの質問に対して未回答や説明が不十分であったりした場合に、技術審査に重大な支障があると本件調達に係る本学技術審査会が判断した場合は、要求仕様を満たしていないものとする。
- 入札仕様書および本書に関する疑義は、本学担当者にメールで問い合わせること。
(電話等その他の方法による問い合わせは、受付けない。)

以上